

研究班番号【 68 】
アーティストのらしさを探れ！～RADWIMPSを例に～

音楽班: 渡邊 心、平井 穏花

Abstract

The purpose of this study is to clarify the "identity" of an artist. In this study, the Japanese rock band, RADWIMPS, was taken as an example for investigation. The survey revealed that the lyrics and register were distinctive, leading to the conclusion that these are among the elements of an artist's "identity".

要約

本研究の目的は、アーティストの「らしさ」を明らかにすることである。本研究では日本のロックバンドのRADWIMPSを例に調査を行った。調査によって、歌詞と音域に特徴が見られることがわかったため、これらがアーティストの「らしさ」の要素の一つであるということが結論づけられた。

1. はじめに

音楽を聴いているときにアーティストの「らしさ」を感じることがある。その「らしさ」は何に起因するのかに疑問を持った。そこで、本研究ではRADWIMPSを例にし、彼らの楽曲の歌詞や構成、テンポなどの音楽的要素を調査し、「アーティストらしさ」は何によって感じられるのかを考察した。

2. 研究手法

RADWIMPSの楽曲の歌詞や構成、音域などをインターネット等を使用して調査し、それぞれの特徴から「らしさ」を作るものは何になるのか考察した。

『調査1』

先行研究【RADWIMPS 野田洋次郎の歌詞における表現特性/黒木亮】に基づいて当該研究以後にリリースされた54曲の歌詞について、その研究で調べられていたジャンル、対象、サビ、英詞、一人称・二人称、色彩の6つの項目について調査した。

ジャンル…歌詞に恋愛要素があれば「恋愛」、恋愛要素がなく曲の対象が特定のものであれば「絆」、不特定のものであれば「思想」と曲を3つにジャンル分けし集計した。

対象…歌詞が何に向けて作られているかを大まかに分け集計した。

サビ…サビのメロディと歌詞がすべて一致しているものを「完全統一」、メロディは一致しているが歌詞が異なっているものを「統一」、サビが一回、もしくはない曲は「それ以外」として集計した。

英詞…曲の歌詞がすべて英語のものを「完全」、英語が全く使われていないものを「なし」、英語が一部使われている曲を「大半」英語が使われているものと「一部」使われているものと区別し集計した。

一人称・二人称…曲中で使用されている一人称、二人称を集計した。

色彩…曲中で使用されている色彩を集計した。

『調査2』

楽曲の構成(テンポ、前奏)について調査した。テンポの項目におけるBPMとは、曲のテンポを決める単位のことで、一分間に何回四分音符が入るかで決まるものとする。

『調査3』

楽曲の音域(最高音、最低音)について調査した。ここではドレミファソラシを国際式の音名で表す。

3. 結果

『調査1』

ジャンル…「絆」は最も割合が多く46.3%、次に「恋愛」が27.8%、「思想」は25.9%となった。

対象…最も割合が多いのは「東日本大震災」と「好きな人」で18.9%、二番目が「友達」で15.1%となった。その他は全て10%以下であったため記述は控える。

サビ…「統一」が68.5%、「完全統一」が18.5%、「それ以外」が13.0%となった。

英詞…「なし」が最も割合が多く75.9%、「一部」は11.1%、「完全」は7.4%、「大半」は5.6%となった。

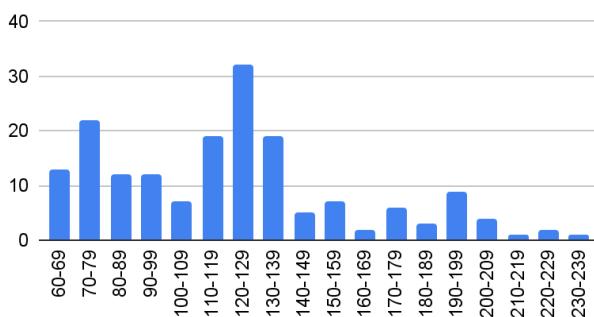
一人称・二人称…一人称は「僕」、二人称が「君」が大多数の曲で使われており、またIやyouなどといった英語の人称も使われている。

色彩…「赤」系の色が多くみられた。

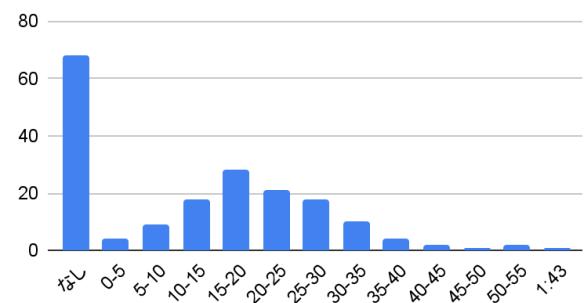
『調査2』

集計結果は以下の通り。テンポに関して、BPM90～140はJ-POPやロックなど、幅広いジャンルで使用されるため、BPMは特徴とは言えない。また前奏の秒数に関して、なしが極端に多くなっているが、近年では前奏がない曲も増えてきているので特徴とは言えない。

BPM



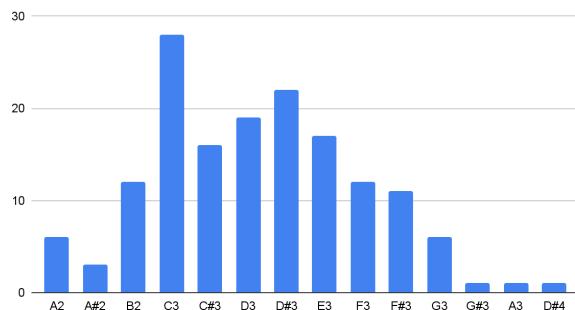
前奏の秒数



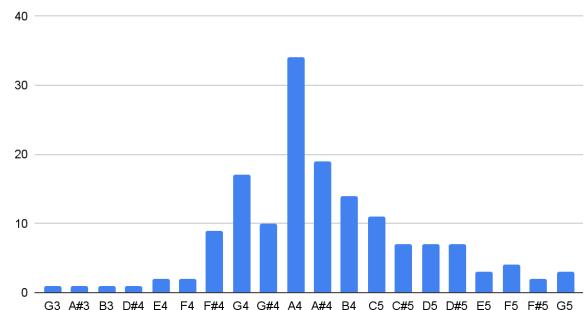
『調査3』

集計結果は以下の通り。最低音のグラフは山のようになっており、最も多く出てきた音はC3である。主にB2からF#3に収まっている。最高音に関しては、最も多かったのはA4で、この音のみかなり多く出てきている。主にF#4からD#5に収まっている。

最低音



最高音



4. 考察

歌詞について、楽曲のうち四分の1もの楽曲に英語が含まれているということから、英語をよく用いているという特徴があると考えられる。また音域について、男性アーティストの音域の平均と比較して、音域が広いという特徴があると考えられる。音域の平均は以下の通り。

音域	最低音	地声の最高音	裏声の最高音
低め	C3	F#4	B4
平均的	D3	A4	D5
高め	F3	D♭5	F5

以上より、これらの特徴が「らしさ」の要素の一つであると考えられる。

5. 結論

歌詞や音域など、特徴が見られた項目はアーティストの「らしさ」の一つであると考えられる。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

黒木 亮.”RADWIMPS 野田洋次郎の歌詞における表現特性”

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~kokugo/nonami/2017soturon/kuroki.pdf>(参照2024-2-14)

弾き語りすとLABO.”男性の音域を平均・低め・高めの3種類で解説。音域チェックできる音源付き”.弾き語りすとLABO.2022-2-19.<https://music-thcreate.com/high-pitched-tone-j-pop-men/>(参照2024-2-14)